

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年1月24日（金）

### 2 確認箇所

5、6号敷地護岸ヤード（ALPS処理水希釈放出設備・放水立坑）（図1）

### 3 確認項目

放水立坑（上流水槽）点検作業の状況

### 4 確認結果の概要

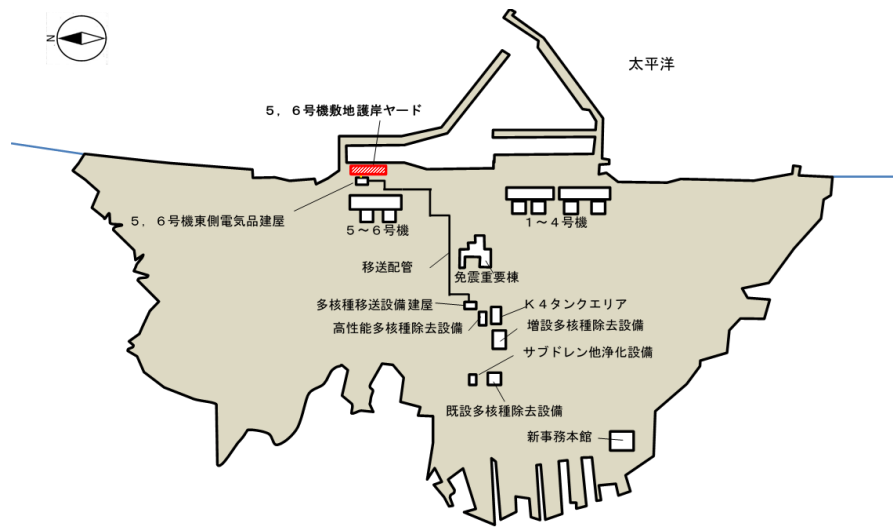
多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、海水でトリチウム濃度を1,500 Bq/L未満まで希釈された後、海洋に放出されている。希釈に用いる海水には貝類などの海生生物や土砂が含まれており、これらがALPS処理水希釈放出設備（以下「希釈放出設備」という。）のポンプや配管等のトラブル要因となるため、定期点検が必要となる。

このため東京電力では、第10回目（10月17日）のALPS処理水放出終了後に希釈放出設備の点検を実施している。

本日は、希釈放出設備のうち放水立坑（上流水槽）の点検作業の状況について確認した。（前回確認日：令和6年12月24日）

- ・当日は、上流水槽底部において防水塗装に膨れのあった部分が切除され、水抜き及び止水作業が行われていた。止水作業の工程は、①浸水部分の切除、②水抜き・乾燥、③モルタル補修の順で行われていた。複数の浸水部がある場合は、最も浸水がある部分に水を集中させ、完全に脱水させた後にモルタルによる補修が行われていた。止水作業後、防水塗装が施される。（写真1）
- ・上記作業のほか、希釈に用いる海水を汲み上げる設備のうち、スクリーン※の点検作業が行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、上流水槽の健全性に影響を与える損傷はなかった。

※スクリーン：発電所や製鉄所などの取水口で水中の塵芥を除去する除塵装置。ALPS処理水を希釈する海水を汲み上げる際、海水に含まれる貝類などの海生生物や土砂を除去する設備。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 防水塗装下部への浸水



(写真1②) 水抜作業の状況



(写真1③) 止水作業の状況



(写真1④) 止水作業の状況



(写真2①) スクリーン点検作業



(写真2②) 点検中のスクリーン

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。